

万能ロータンクボールタップ

V530-5X-13

施工・取扱説明書

施工、ご使用の前にこの説明書を必ずお読みのうえ、正しく施工してください。

お客様へ

お読みになった後は、お使いになる方がいつでも読める所に必ず保管してください。

本製品について 安全上のご注意

- ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果(傷害・物損)に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 施工完了後、試験運転を行い異常がない事を確認してください。

注意

- ⊘ トイレ用のロータンクボールタップです。他の用途には使用できません。
- ⊘ 12mm以上の厚みのある陶器には、取付けできません。
- ⊘ 飲用不可な井戸水には使用できません。

本製品について 適切な使用条件

(水圧について)

給水圧力	最低必要水圧(流動時)	最高使用水圧(静止時)
	0.05MPa	0.75MPa

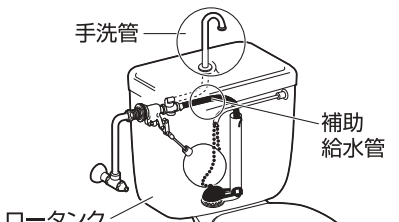
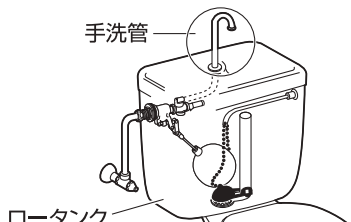
●給水圧力が0.75MPaを超える場合は、市販の減圧弁などで0.2~0.3MPa程度に減圧してください。

(水質・用途について)

使用可能水質	上水道水	用途	一般住宅用
--------	------	----	-------

本製品について 適合について

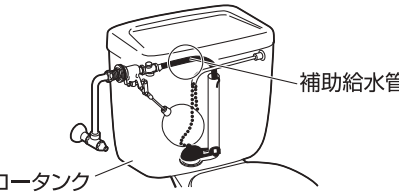
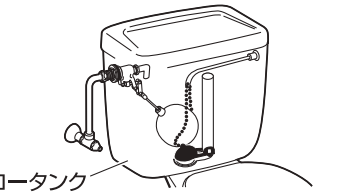
ご使用中のロータンクのタイプによって取付方法が異なります。次の表を参照してタイプを選定してください。

Aタイプ	手洗い付 補助給水管付	Bタイプ	手洗い付 補助給水管なし
			

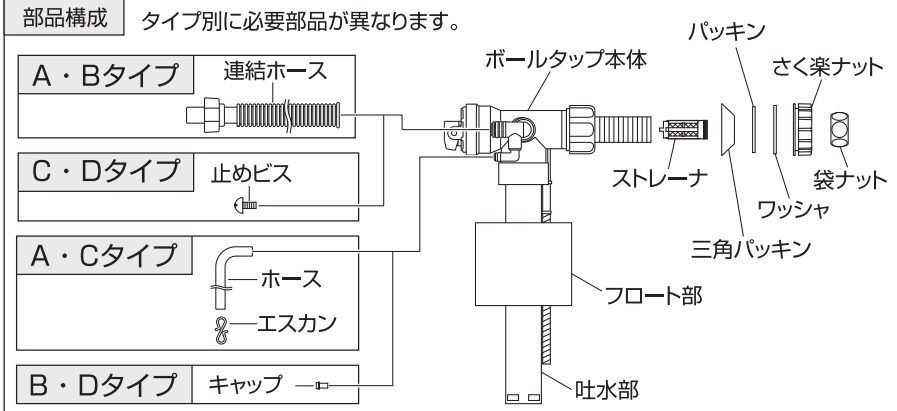
注意

- ⊘ ボールタップ本体と手洗いが金属パイプで接続されている場合は、使用できません。

- ! 連結ホースが合わない場合、使用されていた連結ホースで接続してください。

Cタイプ	手洗いなし 補助給水管付	Dタイプ	手洗いなし 補助給水管なし
			

部品構成 タイプ別に必要部品が異なります。

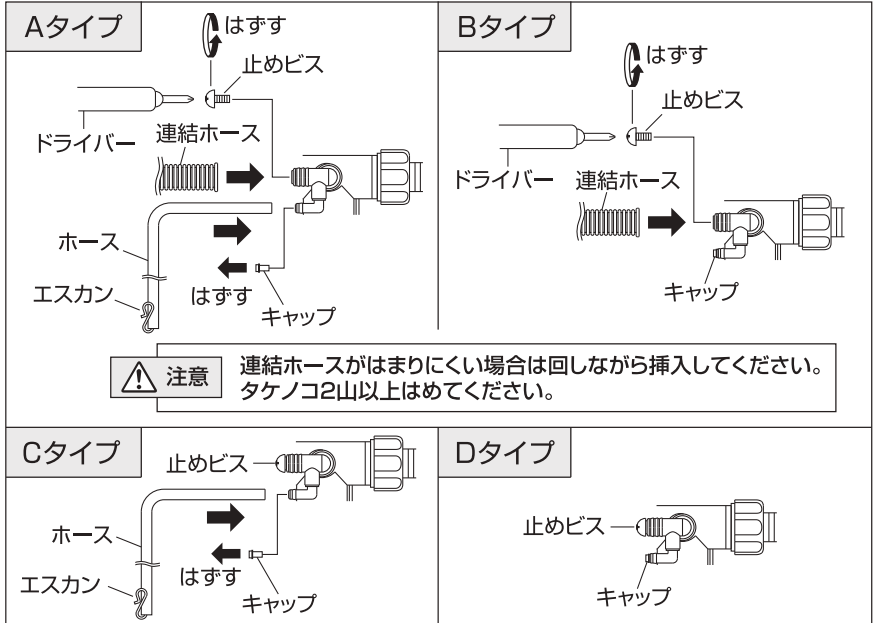


施工について 施工手順

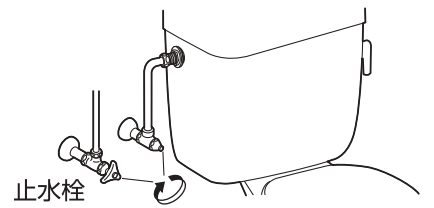
1 ボールタップ組立て

ロータンクのタイプ別にボールタップの部品を取付けておきます。

注意 各部品は根元まで確実に差し込んでください。

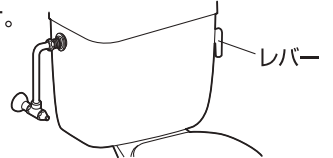


2 止水栓を開めます。



3 ロータンクのレバーをまわし、タンク内の水を流します。

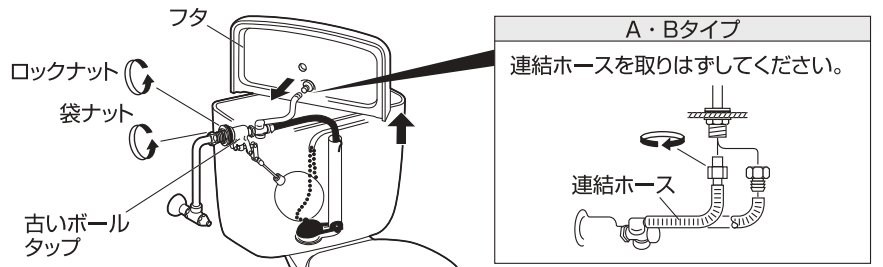
※配管内のゴミ、土砂などは取付前にキレイに流しておいてください。



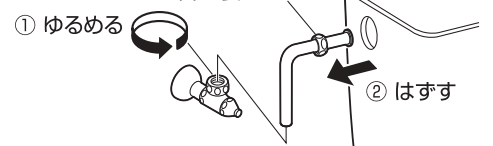
4 ロータンクのフタを開け、古いボールタップを取りはずします。

注意

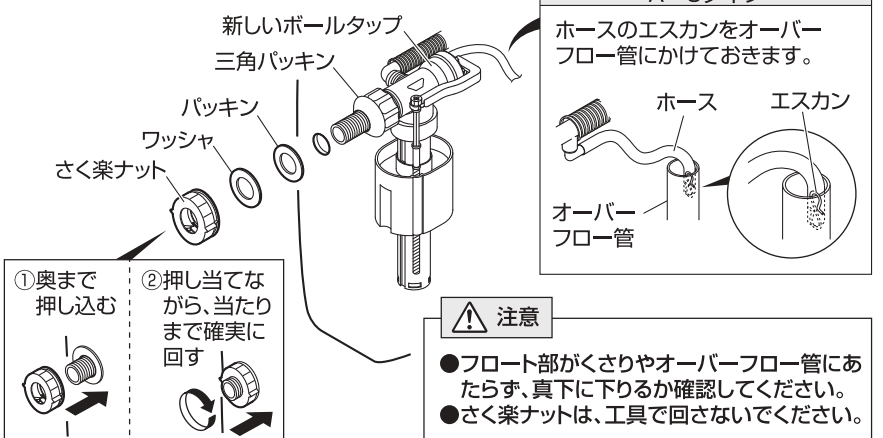
フタは重いので落下などに注意して作業を行ってください。



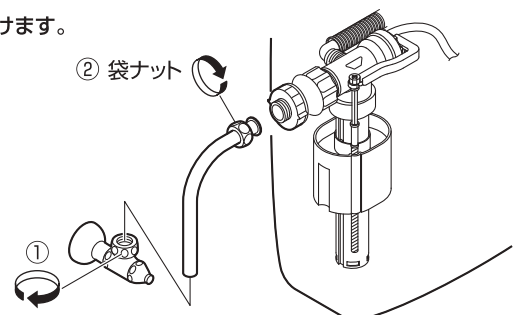
5 古い袋ナットを取りはずします。



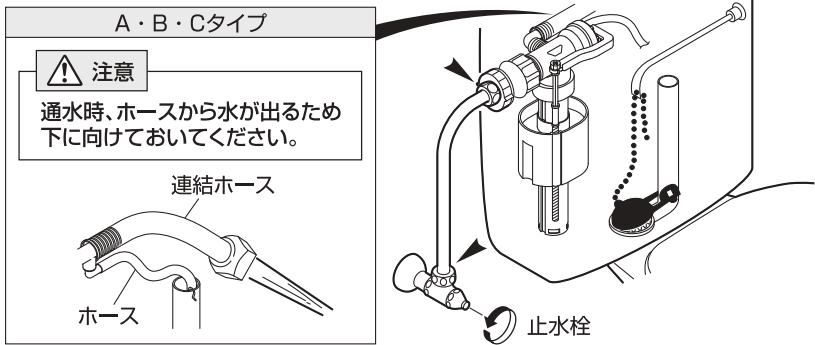
6 新しいボールタップを取付けます。



7 新しい袋ナットを取付けます。

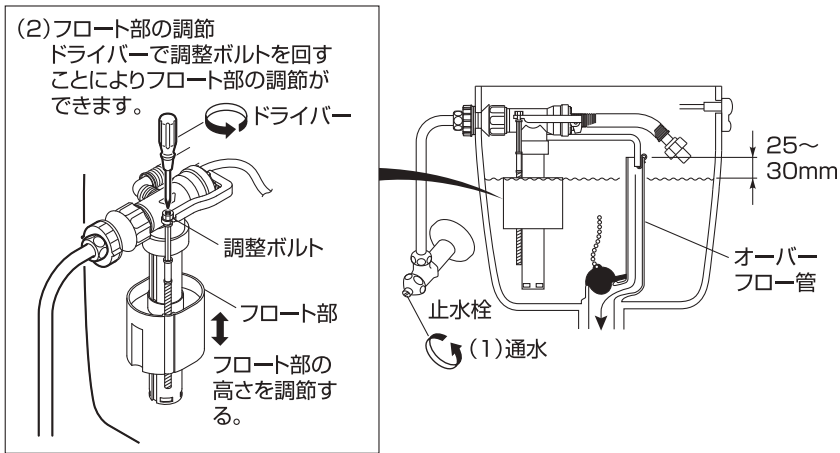


8 止水栓を開いて通水し、各接合部の水漏れ点検をします。



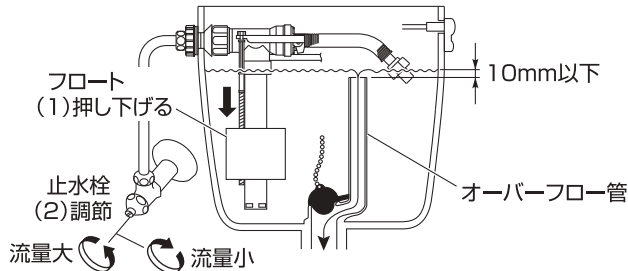
9 止水位置を調節します。

- ※ 止水位置を調節することにより、タンク内に溜まる水量を決めます。
- (1) 止水栓を開き、タンク内に水を溜めます。
- (2) 止水位置がオーバーフロー管のアフレ口から25～30mm下の水位になるようフロート部を調節します。

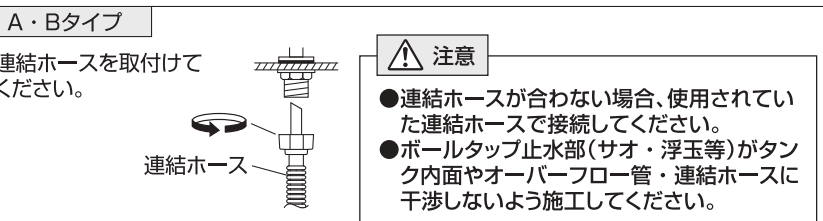


10 止水栓を調節します。

- ※ 止水栓の調節は必ず行ってください。ボールタップの故障により、水がタンク外へあふれるのを防ぎます。
- (1) フロートが浮き上がらないよう静かに押し下げます。
- (2) 一度止水栓を閉め、その後徐々に開き、タンク内の水面がオーバーフロー管のアフレ口より10mm以上、上昇しないよう止水栓の開きを調節します。

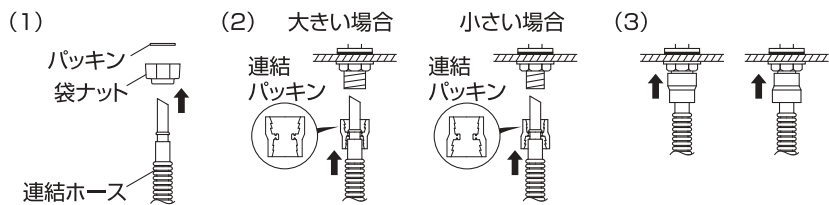


11 ロータンクのフタをのせます。

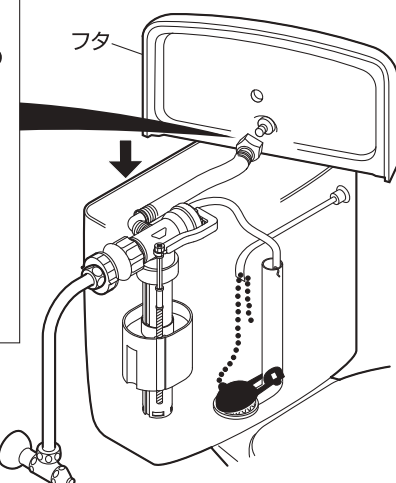
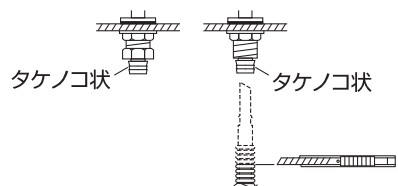


■ 袋ナットが合わない場合

- (1) 連結ホースに付属のパッキンと袋ナットをはずします。
- (2) 手洗ノズルのねじ径に合う向きで連結パッキンを連結ホースの溝部まで差し込みます。
- (3) 手洗ノズルのねじ部にしっかり差し込みます。



■ 手洗ノズルがタケノコ状になっている場合
カッターナイフ・ハサミなどで連結ホースの先端を切断してからタケノコ状部にしっかりと差し込みます。



注意

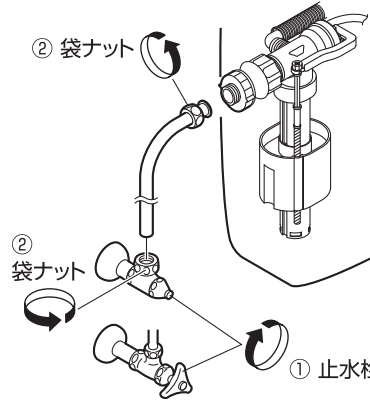
フタは重いので落下などに注意して作業を行ってください。

12 ロータンクのレバーを開き作動および各接続部の水漏れ点検をします。異常がなければ完了です。 ※水が止まらない場合は、「故障?その前に」に従って点検してください。

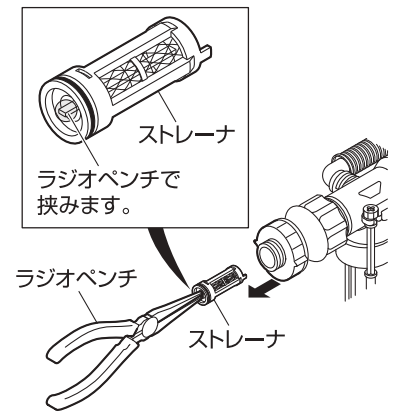
お手入れ ストレーナの掃除

長期間使用して水の出が悪くなった時にお調べください。

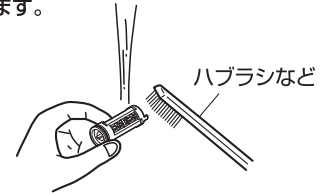
1 止水栓を止めて止水し、袋ナットをはずします。



2 ラジオペンチでストレーナを抜き取りします。



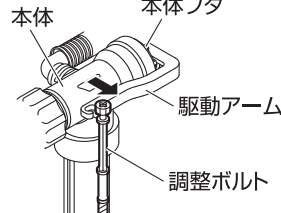
3 ハブラシなどで網部分を掃除します。



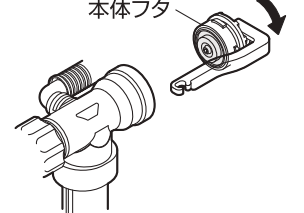
お手入れ 止水部の掃除

水が止まらない場合にお調べください。

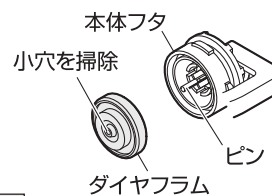
1 駆動アームから調整ボルトをはずします。



2 本体フタを反時計方向にまわし、はずします。



3 本体フタからダイヤフラムをはずし掃除します。ダイヤフラム部に付着している異物を取り除いてください。小穴が貫通しているか確認してください。



注意

傷がつかないように注意してください。

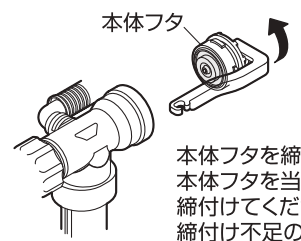
本体フタのピン

これをダイヤフラムの小穴に必ず差し込んでください。差し込まなかった場合、ボールタップから水が出なくなります。本体フタのピンはダイヤフラムの小穴のゴミつまりを防止します。

ダイヤフラム

ボールタップの中でも心臓部にあたる場所です。水を止めたり、出したりする弁の役割をします。

4 部品を元通りに組付けます。(1)ダイヤフラムを本体フタにはめ込みます。(2)本体フタを締めます。(3)調整ボルトを取付けます。



本体フタを締める時は、本体フタを当たりまで締付けてください。締め付け不足の場合は水漏れします。

注意

ダイヤフラムの向き(表・裏)に注意してください。

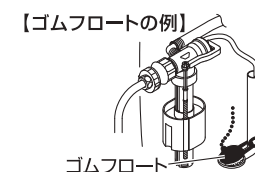
※水が止まらない場合は、「故障?その前に」に従って点検してください。

こんなときは 故障?その前に

水が止まらない場合は、次の表に従って点検してください。

点検項目	処置
ゴムフロートにゴミかみはないか	ゴムフロートを掃除する。
止水部にゴミかみはないか	止水部を掃除する。(日頃のお手入れ/止水部の掃除参照)
ゴムフロートが摩耗劣化していないか	ゴムフロートを交換する。

以上の点検を実施されても水が止まらない場合は、お手数ですがお買い上げの販売店(工事店)に修理をご依頼ください。



〒537-0023 大阪市東成区玉津1丁目12番29号
 カスタマーセンター ☎ 0120-06-9721
 受付時間 9:00～17:30 (土日祝除く)
 ホームページ www.sanei.ltd

SANEI 株式会社